

2025年 2月 7日

## 信州 eye 基金 事業報告書

公益財団法人長野県みらい基金  
理事長 高橋 潤 様

所在地 長野県松本市旭 2-11-66  
団体名 松本盲学校PTA  
代表者職氏名 PTA 会長 奥脇 森絵



2024年9月30日付けで助成決定通知を受けた標記助成金について、助成募集要項10の規定により、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1 助成を受けた助成コース

<input type="radio"/>	(A) 「 <b>学びたいを応援</b> 」: 県内の視覚障がい者を有する児童・生徒の学習支援に資する事業
	(B) 「 <b>暮らしを応援</b> 」: 県内の視覚障がい者を有する者への全般的な支援に資する事業

#### 2 報告する事業について

##### (1) 事業名称

視覚障がい応援事業

##### (2) 事業の実施期間

2024年9月30日 ~ 2025年1月30日

##### (3) 助成額

(A) 既助成額 (概算払)	850,000 円
(B) 対象経費の支出額	850,000 円
(C) 助成金返還額 = (A) - (B)	0 円

(様式5)

(4) 事業の内容

- ① 書見台～日々の教室での学習において活用する。
- ② エンジェルビジョン～教科書や新聞などの情報を読み取る学習の際に活用したい。特に理療科などの専門用語が多用される場面での有意義な活用が期待できる。
- ③ クリアビュー～小さな文字を読み取る学習場面、理科や図工などで対象物を拡大したい時などで活用する。
- ④ センスプレーヤー～日頃の学習場面で音声の読上げのみならず、時間を計りたいとき、余暇でラジオを聴いたり音楽を聴いたりしたい時などに活用する。
- ⑤ 各種検定補助～今後の社会生活を送る際の助けになると思われる、各種検定を受ける際の補助を実施する。
- ⑥ 大会参加補助～中学部、高等部普通科、理療科の生徒たちが、8月のフロアバレーボールの全国大会（東京都）、10月のサウンドテーブルテニス北信越大会（富山）の参加に際して補助を実施する。
- ⑦ 点字用紙～日々の学習や新任職員対象の研修、保護者対象の点字学習会で活用する。

(5) 事業の成果

- ① 通級指導教室で主に活用したが、たたむとアタッシュケース状になり持ち運びも平易なため、小学部の児童の授業でも活用することができた。
- ② 1台は理療科の治療室で、主に書類の読み取りに、もう1台は職員室に置き、主に教材作りに向けた新聞記事や学習プリントなどの読み取りなどに活用している。正確に読み取り、読上げ方も自然なため、日常のふとした場面で活用することができている。
- ③ 主に理療科の生徒が、テストなどのプリントや人体模型図の要点などを拡大するために活用している。大きな画面で見られるため、細部まで確認することができ、授業場面で役立てられている。
- ④ いずれは児童生徒が活用できるようにするため、現在は主に視覚支援が必要な理療科の職員が机上の書類を読み取ったり、ラジオで情報を収集したりするために使用して習熟を図っている。手元に置いておくことができるため、ふとした時に気軽に利用することができている。
- ⑤ 拡大読書器の値段が当初の予定を大きく上回ったため、今年度は各種検定の補助に基金をあてることができなかったが、例年英語検定などを受ける生徒がいるので、次年度以降も一助となれるようお願いできればと考えている。
- ⑥ サウンドテーブルテニス北信越大会の参加にあたっては、例年 PTA 会費から補助がされているが、その一助となった。
- ⑦ 全校の幼児児童生徒と職員が参加して行った「点字運動会」に向けての活動や新任職員研修、保護者向けの点字学習会など、学校生活の様々な場面で活用することができた。

3 添付書類

- (1) 収支報告書（様式6）
- (2) 領収書等、実際に経費を支払ったことが確認できる証拠書類（写し） ※対象経費のみ
- (3) 事業の経過及び成果を示す書類（外部公開可能な写真を含むこと）
- (4) 成果物各1部（開催案内・チラシ、当日配布資料等） ※成果物がある場合
- (5) その他参考となる資料







### 第3章 先天性心疾患

胎生過程で障害が生じたものを先天性心疾患と  
しては、遺伝的要因、妊娠中の薬剤や飲酒、  
染色体異常、ダウン症候群などの染色体異常な  
らされているが、多因子が複雑に影響している

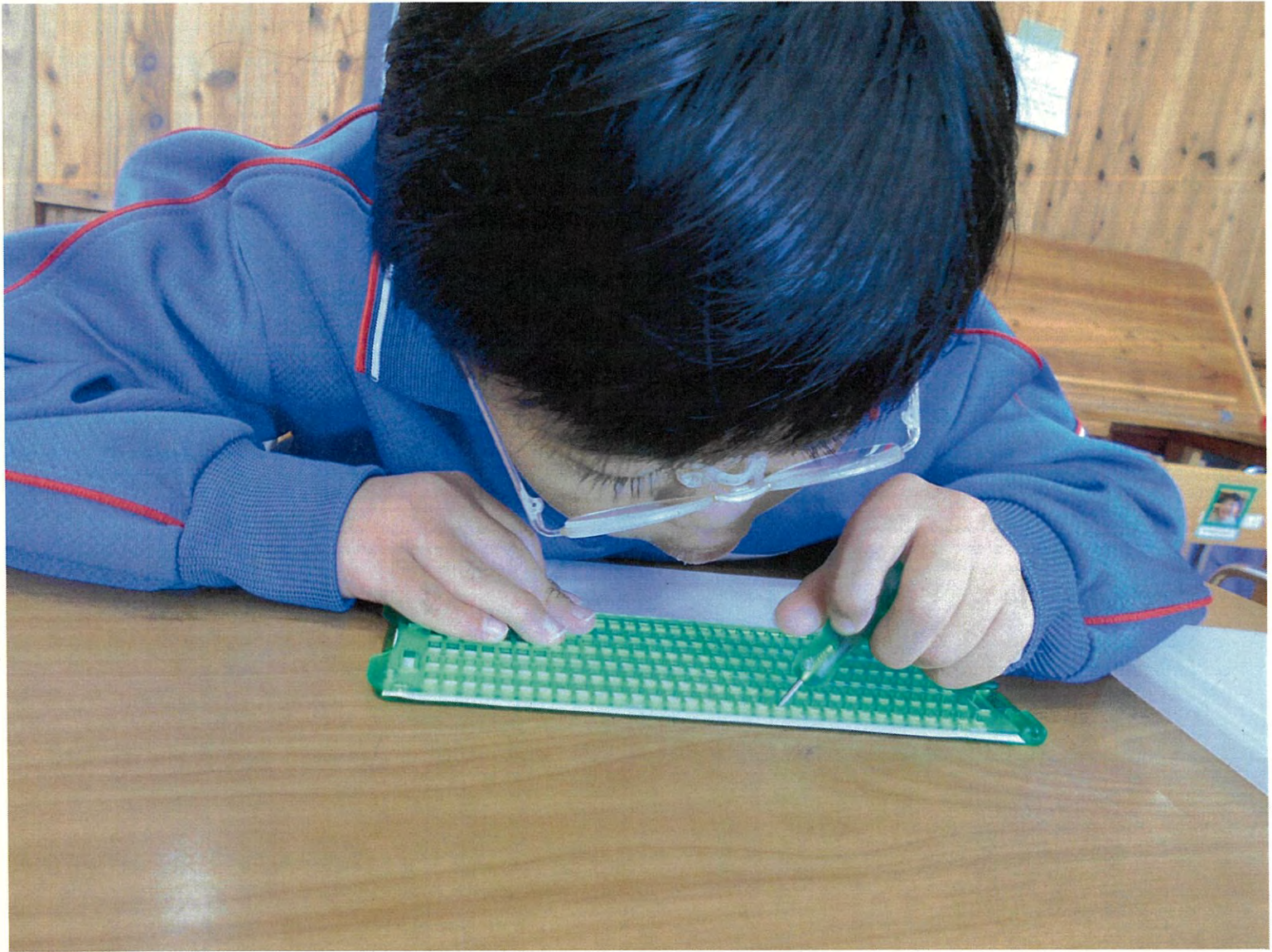
心疾患の発生頻度は全新生児のおよそ1%とい  
う。なかでも多いのは心室中隔欠損症(閉  
鎖不全)

左心房から右心  
室を形成し、時  
右心室に容量負荷  
状はないが、欠損  
吸困難、動悸、易  
右室は成長に伴っ  
て心臓量も増加す  
ることが多い。  
確認、心臓カテー  
タリ



第17回北信越盲学校サウンドテーブルテニス大会





2025年 11月 27日

信州 eye 基金 事業報告書

公益財団法人長野県みらい基金  
理事長 高橋 潤 様

所在地 長野市北尾張部321  
団体名 長野県長野盲学校PTA  
代表者職氏名 PTA 会長 萩原 智徳



2024年9月30日付けで助成決定通知を受けた標記助成金について、助成募集要項10の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成を受けた助成コース

<input type="radio"/>	(A) 「学びたいを応援」：県内の視覚障がい有する児童・生徒の学習支援に資する事業
	(B) 「暮らしを応援」：県内の視覚障がい有する者への全般的な支援に資する事業

2 報告する事業について

(1) 事業名称

学びの充実プロジェクト

(2) 事業の実施期間

2024年9月30日 ～ 2025年11月27日

(3) 助成額

(A) 既助成額 (概算払)	754,000 円
(B) 対象経費の支出額	754,000 円
(C) 助成金返還額 = (A) - (B)	0 円

(4) 事業の内容

学習環境の充実（高額な学習備品の整備）

- ・レティッサ オン ハンド  
視力に影響されない網膜投影を手軽に利用できる手持ち型の視覚支援機器。
- ・パーキンスブレイラー  
点字学習をしている全児童生徒
- ・自立活動学習機器（ナイツ単眼鏡4倍、6倍）  
黒板の文字や掲示物を読み取るために欠かせない大切な学習機器。複数の倍率を用意することで児童生徒に適したものを選ぶことができる。
- ・こころ検定、漢字検定、算数検定、理療科模試等資格取得への一部補助
- ・スポーツ振興センター掛け金補助  
県より補助のない高等部以上の生徒対象
- ・理療科学習機器（BANSHIN PRO 電子温灸器）
- ・理科学習教材（分類学習用動物フィギュア）  
既存の機器、触察教材の経年劣化、破損箇所や紛失箇所があるために新たなものを導入

(5) 事業の成果

今回の事業により整備した学習備品は、視覚支援機器の「レティッサ オン ハンド」は大変高額で簡単には購入できない機器ですが、手軽に使用できる携帯型の支援機器として、授業や日常生活の中で非常に重宝しています。児童生徒が自分の見え方に合わせて活用でき、学習の向上にもつながっています。

また、パーキンスブレイラーについては、これまでクラス内で共有しながら使用していましたが、今回の整備により一人一人が落ちついて点字学習に取り組める環境が整いました。

資格取得への一部補助として、ヘルスキーパーとしての就職を目指す生徒が、「こころ検定」に挑戦しました。受検に向けた学習を通して専門的な知識を深め、自信をもって社会へ踏み出す力を育むことができました。結果として、卒業後にヘルスキーパーとして就職を果たすことができ、生徒本人にとっても大きな喜びと達成感につながりました。

倍率の違う単眼鏡を購入させていただきました。日々の授業や校外活動でも頻繁に使用するため、レンズの摩耗や部品の緩みなどが生じやすく、ある意味で「消耗品」として扱う必要があります。今回いただきました基金を使わせていただき、経年劣化したものを更新することができ、児童生徒たちが安心して学習に取り組める環境が整いました。

電子温灸器

まだ使いこなすところまで至っていませんが、今後機器の使用方法を習得することで火を使わず、温度調整が容易であるため、外部から来校させる患者の方に対して、安全で安心感のある温熱療法を提供できるようにしていきたいと考えております。

動物フィギュア

触察を通して、動物の特徴や身体づくりをよりよく深く理解することができ、理科の学びの広がりにつながっております。教材が充実したことで、児童生徒の興味や意欲がより一層高まっていると感じております。

(様式5)

### 3 添付書類

- (1) 収支報告書(様式6)
- (2) 領収書等、実際に経費を支払ったことが確認できる証拠書類(写し) ※対象経費のみ
- (3) 事業の経過及び成果を示す書類(外部公開可能な写真を含むこと)
- (4) 成果物各1部(開催案内・チラシ、当日配布資料等) ※成果物がある場合
- (5) その他参考となる資料

#### ④事業の経過及び成果を示す書類

##### ○レティツサオンハンドを使ってバスケットボール観戦

バスケットボール観戦の際には、これまで遠くの様子を捉えにくかった児童が、レティツサオンハンドを通して「ボールの動きや選手の姿が見える。」と笑顔を見せていました。



##### ○パーキンスプレイヤー

これまではパーキンスプレイヤーをクラス内で共有していたため、順番を待つこともありましたが新たに整備したことで、一人ひとりが自分のペースで学習できるようになりました。児童は落ち着いて学習に取り組み、集中して点字の打ち方や文章作成の練習に励んでいます。



##### ○電子温灸器

視覚障害を持つ生徒にとって、電子温灸は安全に使用できるため大変有用な道具です。一方で古くから伝わる「火を使うお灸」の文化や伝統的な養生の知恵も大切にしたいと考えております。安全性と伝統の両面を大切にしつつ、新しい道具を積極的に取り入れながら学習を進めさせていただきます。



##### ○動物フィギュア

学習内容を具体的に理解するためには「手で触れて確かめる」経験がとても重要です。今回導入した動物フィギュアは形・特徴などを立体的に感じることができ、児童たちは実際に手に取ってじっくり触りながら観察をしております。



##### ○単眼鏡

単眼鏡を使って黒板の文字や電子黒板の映像を見ております。単眼鏡は、視覚に障がいのある幼児児童生徒にとって、黒板文字や投影資料、掲示物などを「自分の力で見る事ができる」大切な学習支援機器です。倍率や焦点距離などの異なる単眼教をそろえることで一人ひとりの見え方に合わせた最適な環境を整えることができました。



2025年1月8日

## 信州 eye 基金 事業報告書

公益財団法人長野県みらい基金  
理事長 高橋 潤 様

所在地 長野県上田市保野 830-1

団体名 特定非営利活動法人わっこ自立福祉会

代表者職氏名 理事長 松原光昭



2024年9月30日付けで助成決定通知を受けた標記助成金について、助成募集要項10の規定により、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1 助成を受けた助成コース

<input type="checkbox"/>	(A) 「学びたいを応援」：県内の視覚障がい有する児童・生徒の学習支援に資する事業
<input checked="" type="checkbox"/>	(B) 「暮らしを応援」：県内の視覚障がい有する者への全般的な支援に資する事業

#### 2 報告する事業について

##### (1) 事業名称

同行援護従業者養成研修

##### (2) 事業の実施期間

2024年9月30日 ～ 2024年12月25日

##### (3) 助成額

(A) 既助成額 (概算払)	646000 円
(B) 対象経費の支出額	646000 円
(C) 助成金返還額 = (A) - (B)	0 円

(様式5)

(4) 事業の内容

上田市内の福祉分野での就職を目指す高校生・大学生及び視覚障害者に対する支援を検討している一般の方を対象に上田市内にて講座を開催する。

同行援護従業者養成研修のカリキュラムに乗っ取り、資格を取得する。

令和7年度に改定されるカリキュラムに対応した内容の講義を行う。

視覚障害当事者が講師やアシスタントを行うことで、より実践的な講義となるようなプログラムとする。

講師陣は、専門分野である社会福祉士・看護師等を迎えて各講義を行い、講義に集中出来るように資格取得者等でのサポート体制も整える。

高校生・大学生は受講料を免除し、基金により受講料をまかなう、一般の社会人については一部負担をしていただく(教材費及び受講に必要である経費)

「視覚障害者移動支援従事者(同行援護従業者)資質向上研修一般の部(全日)」、2名が受講し履修した。(同行援護従業者養成研修の講師の資格)

(5) 事業の成果

学生・一般の方たちが同行援護従業者養成研修を14名受講し全員が資格取得。

受講生の内4名が上小地域にて障害者支援事業所に就職が内定一名が長野地域で障がい者支援事業所に内定(いずれも長野大学生4年生)

同行援護従業者養成の講師の資格を2名が取得(一名は視覚障害当事者、一名は身体障害者で両名共に1級の重度障害者)

同行援護従業者養成研修修了者を集め、視覚障害当事者に対して安心安全な外出支援を行える様に、ネットワークを構築

視覚障害当事者や他の障害当事者がアシスタントとして講義に参加した事で仕事として報酬を受け取る事が出来た。

長野市在住の視覚障害当事者が同行援護のネットワーク構築に参加した事で、長野県域にもネットワークの輪が広がることに期待できる。

3 添付書類

(1) 収支報告書(様式6)

(2) 領収書等、実際に経費を支払ったことが確認できる証拠書類(写し) ※対象経費のみ

(3) 事業の経過及び成果を示す書類(外部公開可能な写真を含むこと)

(様式5)

(4) 成果物各1部(開催案内・チラシ、当日配布資料等) ※成果物がある場合

(5) その他参考となる資料

(様式5)

## 受講生感想文

長野大学社会福祉学部4年の土肥美夢と申します。

同行援護従業者養成研修の感想を、

以下に入力しましたのでご確認ください。

### 【同行援護従業者養成研修を受講した感想】

「同行援護従業者養成研修を通して、大学では詳しく学ばなかった視覚障害となる原因の疾患や、視覚障害がある方の生活での困りごとや生活をしやすいするための方法等について知ることができ、大変勉強になりました。

また、実際にアイマスクをつけて建物の中や外出をしてみると、人通りが少ない道よりも、人通りが多い道の方が人の気配を感じているのに、実際にはどこにいるのか触れずに確認できない不安感を感じました。今回の体験で感じた不安感を、利用者の方に安心して同行援護を利用していただけるように活かしていきたいです。

短期間でしたが、多くのことを教えていただき、ありがとうございました。今回学んだことを今後の学びに繋げていきたいです。」

何卒よろしくお願ひいたします。

(様式5)

池田先生へ

同行援護従業者養成研修を受けさせていただきありがとうございました。

アイマスクを付けて歩く、階段の上り下り、街中を歩き買い物をする、更にバスや電車の乗り降り、難関のエスカレーターの乗り方等、とても貴重な体験,ができました。

ありがとうございました。

視覚障がい者のみなさんが、どんな時が不便か、どんな事が怖いか、どんな時に手助けが必要かが、少し理解できた気がします。

これからはもっと敏感に障がい者の思いを感じ取れるようにしたいと思いました。

本当にありがとうございました。

乗り物の乗り降りは難しく危険が伴うので、もう少し回数多く体験できたら、もう少し自信を持てるのでは、と思いました。

本当にありがとうございました。

点訳ボランティア 春原昌子

(様式5)

先日はお世話になりました。長野大学の後藤大武です。

同行援護従業者養成研修の感想を以下に記しました。

お伝えいただけますと幸いです。よろしく申し上げます。

視覚障害を持つ方々に関わる機会がなかった中、この研修を通してその方々の特性や率直な悩みなどさまざまな話を聞くことができ、有意義な時間を過ごすことができました。

実習ではアドバイスを受けながら、援護する側・援護される側の両方を体験させていただきました。そこでも、多くのことをご指導賜りました。両方の立場を体験した上で、今できる何かを最大限フォローすることが、援助者として必要な心得えだと感じました。視覚に障害がある中でも、多くの感じえること・考えることなどがあると思われれます。それらを援護する側・援護される側の双方が共有し合うことで、お互いが気持ち良く歩めるのではないかと私自身感じました。同行援護には、人と人との関わりが根本にあり、それを大切にした上で、知識や技術などによる現実的な障害への対応が必要なのだと思います。

(様式5)

長野大学4年 神津梨緒

同行援護従業者養成研修を通して感じたこと

当事者が普段どのような生活を過ごしているのか、生活の中で何が障壁になっていて、どう改善すべきなのか知ることができた。また、当事者がどのように情報を得ているのかについても学ぶことができた。音や匂い、感触等の情報は、晴眼者にとって無意識に感じ取っていたり、感じ取れなくても生活できたりする一方で、当事者はそれらの情報を感じ取らなければ命に係わる問題になることを理解した。

当事者と晴眼者との間で認識の違いや情報の重要性に差があるのではないかと思った。こうした差から、支援者が情報を意識的に感じ取り、当事者に適切に伝えることへ難しさを感じた。

当事者についてわからないことがほとんどだからこそ、当事者が感じている不安感や怖さを体験することができて、当事者の立場に少しでも触れることができてよかった。

今後もし支援する機会があれば、今回の研修での体験を通して感じた怖さや不安さ、わからなさを覚えておくとともに、当事者の命を預かるという責任の大きさを自覚しながら支援をしていきたいと思った。また、情報提供をするにあたり、自分の知識や説明力を蓄えておきたい。

お忙しい中、10月から毎週お時間を取ってくださりありがとうございました。

補講の時間を設け、同行援護の資格を取れるよう配慮して頂き、本当にありがとうございます。

様々なことを教えて頂き、貴重な体験をすることができました。同行援護という資格を知ることができ、研修に参加できて本当に良かったです。大変お世話になりました。ありがとうございました。

## 同行援護研修を受けて

座学では、正直なところこれまで全く知らなかった視覚障害にまつわる決まりや補助道具について知ることが出来ました。点字ブロックの種類や横断歩道の音などもこれまで気にしたことがなかったですが、講習を受けてから街なかの点字ブロックの線の本数や高さ、横断歩道の音での東西南北に注意がいくようになりました。

演習では、支援者側の際はどこまで情報を伝えるべきか迷ったり、世間話をしている途中に度々割り込んで障害物の位置を伝えたりするので、伝えるべき情報の話以外は控えた方が良いのかと思いました。

また支援を受ける側の際は、どういう状況かがほとんどわからずなるべく多くの情報を伝えてほしいという気持ちや周りにどういう人がいるかわからないためあまり個人的な話を振って欲しくないという気持ちを抱きました。

両方の立場を体験してみて、自分が支援を受ける側の際にこう感じたため支援者側の時はこうしてみようと気を付けることができました。

私は先輩方と異なり、社会福祉士のコースではなく将来の職業として視覚障害をもつ方と関わることはあまり多くないですが、同行援護の資格を取って終わりにするのではなくこれからはボランティア活動などを通して視覚障害を持つ方と交流をしていきたいと思います。

(様式5)

社会福祉学部4年 中嶋慧

(様式5)

お世話になっております。

長野大学社会福祉学部3年の高橋和夏です。

同行援護従業者研修養成につきましての感想を送らせていただきますのでご確認お願いいたします。

今回の研修を受けるなかで、視覚障害者についての座学的な知識や当事者の方々が普段感じていること、私自身が同行援護を行ううえで意識すべきことを新たに学ぶことができたと感じます。

社会福祉学部在籍している身として、「障害者」という大きな枠組みについて学び、その中で視覚障害者について触れることはあっても、今回の研修のように視覚障害をピックアップして詳しく学べる機会は意外に少なかったことを実感させられ、またそれ故に今回の研修ではとても貴重な経験をさせて頂けたと感じました。

特に、こまめにコミュニケーションを取ることが重要であるとは理解していても、具体的に道路や景色の様子を伝えたり、歩く速さや顔色に気を配ることで利用者の方の体調にも気を配ることも必要である、という内容はお話に聞いたり実際に目隠しをして体験してみたりしないと気づくことができなかつたと感じ、とても印象に残っています。

最後に、池田さんや角谷さん、西澤さんのお話を聞かせていただいたり、見極めをしていただいたことで同行援護を行う際には、私自身がさまざまなことに関心を持つこと、援護を楽しむことも重要であると理解することができました。

今回学んだこと、感じたことは同行援護に関してのみでなく、折々に思い返して社会福祉の実践にも生かしていきたいと感じます。ありがとうございました。

(様式5)

同行援護研修 感想

基礎から教えて頂き大変勉強させていただきました。

介護施設でしか働いたことがなかった私は今は訪問介護、居宅介護に携わらせていただいています。同行援護という支援が下伊那でないとのことで、支援を行えるようにと研修を受けさせていただきました。

視覚障害を持っている方お一人お一人が見え方に違いがあること、日々どのような暮らしをしていて、どのようなことが困るのか、何を伝えたらいいのかを教えて頂きとても勉強になり、そして考えさせられました。

日常の中で漠然と過ごして来たことが実際に行き行って体験して、不安だな怖いなと感じました。

歩き方、感じ方なども違う為相手の方としっかりコミュニケーションを取ることを基本にこれから実際に関わらせて頂く中で色々な思いも出てくると思いますが、相手の方に信頼していただけるようにしっかりと同行援護を行っていきたいとおもいます。

今回講義を受けさせて頂く事ができとても感謝しています。

ありがとうございました。

大変遅くなり申し訳ありませんでした。

よろしく願いいたします。

神尾詩織

(様式5)

〈講座の感想〉

点字やアイマスクを着用しての白杖体験・食事体験、ペアとなって互いに同行援護の演習を行う等、実際に楽しみつつ体験することが、本当の障害理解・対象者理解に繋がると感じました。

また実際に視覚障害当事者の方々と関わる経験があったことで、困っていることや変えてほしいと思っていることを詳しく聞くことができることに加えて、

視覚障害と一括りにはされていますが、見え方・障害に対する捉え方含め個人差があることを再認識することができました。

さらに私は今まで白杖や盲導犬についての存在自体は知っていましたが、白杖 **SOS** シグナルやエスコートゾーンについては初耳だったのでこの機会を知ることができて良かったと感じました。

一方で、いかに自分が普段しゃべり方や香り等に配慮ができていないかを実感しました。誤解のないような文章作りや、声かけ・最低限のマナー等今後改めて留意したいと思います。

そして資料ですが、紙だけでなくメールでも送って下さることが非常にありがたかったです。

長くなりましたが、講座全体を通して視覚障害に対する新たな知識や同行援護に必要な声掛け等を学ぶことに加えて、

知識・配慮不足等私自身の新しい課題の発見にも繋げることができました。

本当に貴重な経験をありがとうございました。

最後に重ね重ねになりますが、この度は本当にありがとうございました。

吉本様をはじめ、講師の皆様方・アシスタントの方々のご健康と、貴法人のますますのご発展をお祈り申し上げます。

---

長野大学 社会福祉学部 社会福祉学科

F22117 福田真生

(様式5)



アイマスクを装着して全盲の食事体験学習

(様式5)



白杖での歩行体験学習

(様式5)

【令和6年10月期】 主催: わっこ自立福祉会

同行援護従業者研修 ①

<https://youtu.be/OybvOZxFr-0>

同行援護従業者研修 ②

<https://youtu.be/f8WMWtytZs0>

同行援護従業者研修 ③

<https://youtu.be/ZGNxZLFY-08>

同行援護従業者研修 ④

<https://youtu.be/Hui6dgjF2o>

同行援護従業者研修 ⑤

<https://youtu.be/fYacSDwARWc>

同行援護従業者研修 ⑥

<https://youtu.be/G14dLM7qJZk>

同行援護従業者研修 ⑦

<https://youtu.be/lyRGsjov7eI>

講義に使用した YouTube の動画

<https://www.youtube.com/watch?v=SHbfbi-C-uM>

盲導犬が出来る事

<https://www.youtube.com/watch?v=0HfVLMGrOPQ>

[https://www.youtube.com/watch?v=TBeXE6Y9y\\_c](https://www.youtube.com/watch?v=TBeXE6Y9y_c)

視覚に障がいのある方への積極的なお声かけ

(様式5)

<https://www.youtube.com/watch?v=bzcdsGxsuBc>

視覚障害者と食事するとき

<https://www.youtube.com/watch?v=6PTioK8fjO4>

視覚障害者への接し方教室

<https://www.youtube.com/watch?v=Xg-BYevwCww>

特定非営利活動法人わっこ自立福祉会



同行援護の資格を取ろう

開催日：2024年10/12(土)より  
11/17(日)まで7日間

場所：上田市ふれあい福祉センター

講座名

同行援護従業者  
養成研修

(一般課程・応用課程)

会場

ふれあい福祉センター  
周辺道路・交通機関 等

講習費

一般 30000円

学生 無料

教材費として別途5000円が必要

申込方法

裏面申込書に必要事項を記入して郵送  
してください

募集人数

一般10人  
学生10人



盲導犬利用の視覚障  
害者への注意点や白杖を  
利用している障害者へ  
の対応を詳しく学べる



社会人だけでなく高校  
生や大学生も資格取得  
ができる講座です。



研修では白杖を使用し  
た歩行訓練や支援のポ  
イント等をしっかりと  
学んでいただきます。



信州eye基金共同事業 後援 上田市視覚障がい者福祉協会

お問い  
合わせ

特定非営利活動法人わっこ自立福祉会

〒380--1321 長野県上田市保野 830-1

☎0268 (39) 4568 FAX 0268(39)4566

随時受付 担当 吉本

090-6484-2984

FAX 0268-39-4566

お問い合わせ・お申し込み先

郵送先

特定非営利活動法人わっこ自立福祉会

〒386-1321 長野県上田市保野830-1

TEL 090-6484-2984 受付時間 随時 担当 吉本

WEB

<http://npo-wakko.jp>

## 受講申込書

(必須)

ふりがな

氏名

(必須)

住所

〒

-

(必須)

連絡先

TEL

(

)

MAIL

@

性別

男

・

女

年齢

(

) 歳

### ■保護者同意書

18歳未満の方は保護者様の同意が必要となります (必須)

ふりがな

氏名

性別

男

・

年齢

(

) 歳

※こちらの書面は申し込みは仮申込書です、受講が決定しましたらお知らせします。

※申込期間 令和6年10月5日まで 当日消印有効

※個人情報の取り扱いについて

ご記入いただいた個人情報につきましては申込者様ご本人の意思による情報の提供 (申請・登録) のみに使用させていただきます。あらかじめ明示した収集目的以外での情報の提供は行いません。

特定非営利活動法人わっこ自立福祉会

2025 年 4 月 30 日

信州 eye 基金 事業報告書

公益財団法人長野県みらい基金  
理事長 高橋 潤 様

所在地 長野県塩尻市広丘堅石 98-2  
団体名 信州ファンドレイジングチーム  
代表者職氏名 吉國 明夫



2024 年 月 日付けで助成決定通知を受けた標記助成金について、助成募集要項 10 の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成を受けた助成コース

	(A) 「学びたいを応援」：県内の視覚障がい有する児童・生徒の学習支援に資する事業
○	(B) 「暮らしを応援」：県内の視覚障がい有する者への全般的な支援に資する事業

2 報告する事業について

(1) 事業名称

コード化点字ブロックを活用したA I 音声案内サービス (JR 広丘駅構内および周辺での実証実験)
--

(2) 事業の実施期間

2024 年 10 月 1 日 ~ 2025 年 3 月 31 日
-----------------------------------

(3) 助成額

(A) 既助成額 (概算払)	538,000 円
(B) 対象経費の支出額	538,000 円
(C) 助成金返還額 = (A) - (B)	0 円

(4) 事業の内容

【事前の準備作業（助成金採択前）】

- ・ 広丘駅の下見（数回にわたり実施）
- ・ 広丘駅の構内および周辺の点字ブロックの図面作成
- ・ 開発者（松井くにお教授）、開発会社（W&M社）による下見
- ・ コード化する点字ブロックの位置を選定
- ・ W&M社へ見積もりを依頼
- ・ 長野県みらい基金（信州 eye 基金）へ助成金申請書提出
- ・ 案内メッセージ作成ボランティア募集説明会 参加生徒20名（東京都市大学塩尻高校ボランティア同好会）（2024年9月11日）

【助成金採択直後】

- ・ 長野県みらい基金より採択決定（2024年9月30日）
- ・ 塩尻市都市計画課への広丘駅の使用許可申請提出
- ・ 決定金額が予定より不足していたため W&M社と計画縮小の折衝
- ・ 塩尻市都市計画課より広丘駅および周辺の歩道の使用が許可された

【実施段階（助成金採択後）】

- ・ 設計に従って点字ブロックをコード化およびコードの割り当て
- ・ 案内メッセージの作り方を講義 参加生徒9名（東京都市大学塩尻高校ボランティア同好会）（10月11日）
- ・ 2日間にわたり点字ブロックのコード化作業（ブロックの汚れ落とし、シール設置作業等）その模様を市民タイムスが取材し記事として掲載された。（10月16日・17日）
- ・ 案内メッセージのサーバーへの登録作業
- ・ 案内メッセージの確認作業および修正作業および現地でのテスト
- ・ 体験会の案内を各所に広報（塩尻市社協、塩尻市福祉課、塩尻市都市計画課、塩尻市秘書広報課、塩尻市教育委員会、長野県ハーネスの会、点字ボランティアサークル カンナの会、松本美須ヶ丘高校、松本盲学校、新聞各社、放送局各社など）
- ・ 中日新聞の取材を受ける。（10月23日）
- ・ 塩尻市長および塩尻市教育長が体験（11月2日）
- ・ 現地での体験会 当日参加者10名 スタッフ4名 取材 読売新聞（11月3日）
- ・ NHK長野放送局「イブニング信州」で生中継された（2025年2月6日）
- ・ 全盲の高校生と引率教諭が体験（2025年2月17日）
- ・ 設置後は適宜（不定期）見回って点検補修を行なっている。

(様式5)

(5) 事業の成果

【アンケート結果】

回答者(体験者) 全盲2名、ロービジョン1名 そのほかは晴眼者

- ・人が多い場所、音がうるさい場所での使い勝手がどうかと心配する。
- ・データ作りに高校生が関わってくれたことを嬉しく頼もしく思う。
- ・日照や汚れに影響されることはないかと心配する。
- ・もっとたくさんの方に体験してもらったら良いと思いました。
- ・広丘駅の点字ブロックがトイレまで通じていないことがわかりました。
- ・スマホを持っていないのでスマホが必要だと思いました。
- ・目の不自由な方にとっては、とても便利なものだと思います。
- ・あちこちに取り付けられると良いと思いました。
- ・今どこにいるかがわかる。入口がわからない。(全盲)
- ・実際にコード化点字ブロックの説明を考えてみて意外と気がついていないことが多いなと思いました。いろいろな点字ブロックを読んでみても少し情報が足りない所もあり、自分ももっといろいろなところを見て生活したいと思いました。
- ・トイレの場所を案内する専用ボタンが欲しい。

体験者の声としては、全盲者とロービジョンの人は方角がわかり周りの状況がよくわかるので全国に普及することを大いに期待するという意見が寄せられた。

テレビ中継された事と新聞に載ったことで理解者が増えたことが考えられる。

【まとめ】

体験者の意見としては、視覚障害者にとって有用なもので普及することが期待される。視覚障害者用の支援システムはスマホの普及によって多様なものが発表されている。これらのうち淘汰されるものもあると考えられるが、方角によって案内メッセージが変化するのは無いのでこのシステムはかなり便利であると考えられる。またメッセージの多言語化や健常者にも役に立つシステムとして今後期待できる。

今後の課題として今回は予算の関係で設置できなかったトイレまでの誘導とトイレ内の案内ができるようにしたいと考える。

もう一つの課題は駅のホームに設置できるようになれば見えにくい人の利便性と安全性が大いに高まると考えられる。

またインフラのひとつとして設置されていて当たり前になることを期待している。

3 添付書類

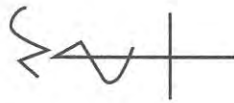
- (1) 収支報告書(様式6)
- (2) 領収書等、実際に経費を支払ったことが確認できる証拠書類(写し) ※対象経費のみ
- (3) 事業の経過及び成果を示す書類(外部公開可能な写真を含むこと)
- (4) 成果物各1部(開催案内・チラシ、当日配布資料等) ※成果物がある場合
- (5) その他参考となる資料

(様式5)

(6) 添付資料一覧

- 収支報告書(様式6)
- 領収書等(対象経費のみ 自己資金は含まず)
- 図面(点字ブロック配置の図面)
- 現場の写真(設置作業、体験会)
- ポスター(自己資金で制作)(広丘駅に一ヶ月程度掲示したもの)
- 体験会のチラシ(自己資金で制作)
- 新聞記事(市民タイムス、中日新聞、読売新聞)
- テレビ放送のスナップ写真

国道19号

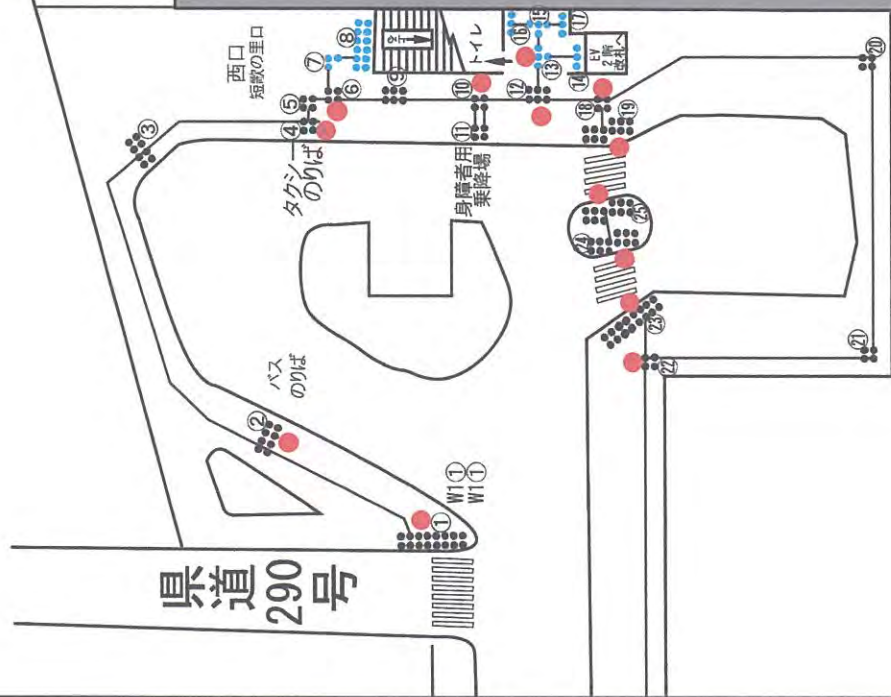


2番ホーム（上り）塩尻方面

1番ホーム（下り）松本方面

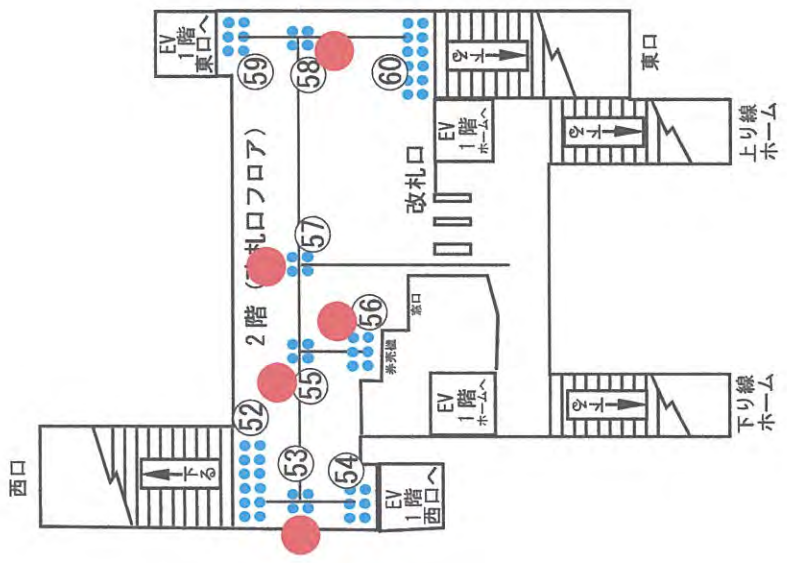
- 凡例
- は警告ブロック  
1個は一枚分
  - 5×5
  - 7×7
  - ┆は誘導ブロック

県道290号



凡例

- は警告ブロック  
1個は一枚分
- 5×5
- 7×7
- は誘導ブロック



# 市民タイムス

発行所 市民タイムス:本社 〒390-8539松本市大字島立800番地  
TEL(0263) 受付47-777 編集47-774 広告48-2000 販売47-4755 (市民タイムス2024年)  
FAX(0263) 受付48-2422 編集47-1654 広告47-5535 販売48-2422 支社 富田野-福沢 支局 長野-木曽

塩尻市民合唱団は27日午後2時から、同市のレザンホール年記念演奏会を開く。平成5(1993)年の信州博覧会の会場を披露した市内の人たちが結成し、練習を重ねてきた。20〜幅広い世代のメンバーが練習の成果を披露する。(小坂)

## 27日 レザンホールで演奏会



記念演奏会に向けて練習に励むメンバー

塩尻市民合唱団は、平成5(1993)年の信州博覧会の会場を披露した市内の人たちが結成し、練習を重ねてきた。20〜幅広い世代のメンバーが練習の成果を披露する。(小坂)

## 口腔ケアの努力たたえる

塩尻歯科  
医師会など

27人・2団体を表彰

口腔ケアが優良な高齢者や、ケアに熱心な取り組みを推進する塩尻歯科医師会の細川安伸会長らから表彰状を受けた。表彰区分の「高齢者」は90歳以上、75歳以上の要介護認定者で自分の歯が20以上に残る人が対象だ。大門



優良口腔ケア

八番町の老人ホーム・グレイスフル塩尻で暮らす竹村西夫さん(91)は27本の歯が虫歯になつたことがない健全歯だといふ。竹村さんは「歯の痛さを知らな

## 点字ブロックを音声化

### 市民団体 広丘駅40カ所に部材設置

塩尻市の市民団体・信州フアンドレイジングチームは16日と17日、JR広丘駅にある点字ブロックに、音声情報案内を録音することができる専用部材を設置した。スマートフォン専用アプリで読み取り、移動方向の情報が提供される仕組み。視覚障害者だけでなく、計40カ所に設置された点字ブロックに施され

た、直角三角形とリンゴ状のマークの配置でコード番号を認識し、それに対応した案内音声から流れ出る。スマートフォンをかざして音声情報取得する「コード化点字ブロック」によるAI(人工知

能)音声情報案内システムは、金沢工業大学(石川県)の松井くにお教授研究室や、W&Mシステムス合同会社(東京都)が共同研究開発した。フアンドレイジングチームは社会貢献活動として取り組み、公益財団法人長野県みらい基金の「信州eye基金」から53万円余の助成を受けた。吉國代表 s19500@gmail.com)に申し込む。(潮川智子)

丸山元県議の公判2日目 27面

遠野物語がテーマ 26日に公開シンポジウム 26日午後11時、公開シンポジウム「遠野物語」(5)

塩尻市の塩尻総合文化センターで26日午後11時、公開シンポジウム「遠野物語」(5)

丸山元県議の公判2日目 27面

遠野物語がテーマ 26日に公開シンポジウム 26日午後11時、公開シンポジウム「遠野物語」(5)

塩尻市の塩尻総合文化センターで26日午後11時、公開シンポジウム「遠野物語」(5)

丸山元県議の公判2日目 27面

丸山元県議の公判2日目 27面

遠野物語がテーマ 26日に公開シンポジウム 26日午後11時、公開シンポジウム「遠野物語」(5)

塩尻市の塩尻総合文化センターで26日午後11時、公開シンポジウム「遠野物語」(5)

丸山元県議の公判2日目 27面

遠野物語がテーマ 26日に公開シンポジウム 26日午後11時、公開シンポジウム「遠野物語」(5)

塩尻市の塩尻総合文化センターで26日午後11時、公開シンポジウム「遠野物語」(5)

丸山元県議の公判2日目 27面

遠野物語がテーマ 26日に公開シンポジウム 26日午後11時、公開シンポジウム「遠野物語」(5)

塩尻市の塩尻総合文化センターで26日午後11時、公開シンポジウム「遠野物語」(5)

丸山元県議の公判2日目 27面

遠野物語がテーマ 26日に公開シンポジウム 26日午後11時、公開シンポジウム「遠野物語」(5)

塩尻市の塩尻総合文化センターで26日午後11時、公開シンポジウム「遠野物語」(5)

丸山元県議の公判2日目 27面

遠野物語がテーマ 26日に公開シンポジウム 26日午後11時、公開シンポジウム「遠野物語」(5)

塩尻市の塩尻総合文化センターで26日午後11時、公開シンポジウム「遠野物語」(5)

丸山元県議の公判2日目 27面

遠野物語がテーマ 26日に公開シンポジウム 26日午後11時、公開シンポジウム「遠野物語」(5)

塩尻市の塩尻総合文化センターで26日午後11時、公開シンポジウム「遠野物語」(5)

丸山元県議の公判2日目 27面

遠野物語がテーマ 26日に公開シンポジウム 26日午後11時、公開シンポジウム「遠野物語」(5)

塩尻市の塩尻総合文化センターで26日午後11時、公開シンポジウム「遠野物語」(5)

丸山元県議の公判2日目 27面

遠野物語がテーマ 26日に公開シンポジウム 26日午後11時、公開シンポジウム「遠野物語」(5)

塩尻市の塩尻総合文化センターで26日午後11時、公開シンポジウム「遠野物語」(5)

丸山元県議の公判2日目 27面

遠野物語がテーマ 26日に公開シンポジウム 26日午後11時、公開シンポジウム「遠野物語」(5)

塩尻市の塩尻総合文化センターで26日午後11時、公開シンポジウム「遠野物語」(5)

丸山元県議の公判2日目 27面

遠野物語がテーマ 26日に公開シンポジウム 26日午後11時、公開シンポジウム「遠野物語」(5)

塩尻市の塩尻総合文化センターで26日午後11時、公開シンポジウム「遠野物語」(5)





## 体験会の様子



## 設置作業の様子

## テレビ放送の様子



# 広丘駅で実証実験中

「コード化点字ブロック」による音声案内サービスとは  
社会インフラである安全な点字ブロック上を歩行し、必要な時にスマホをかざして、自分のいる  
現在地、方向案内、周辺情報などの音声案内を聞くことができるサービスです。

スマホで「街の点字ブロック」が「しゃべる点字ブロック」にグレードアップします。

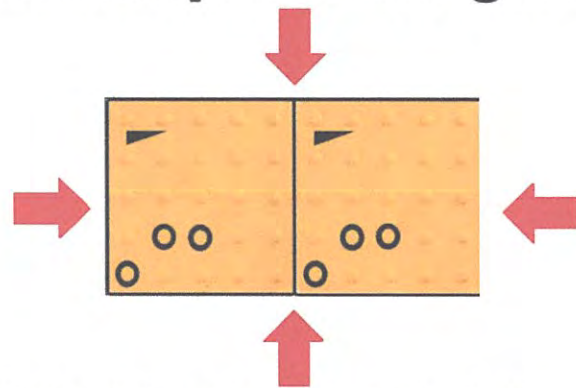
## しゃべる点字ブロック

**Coded Braille Blocks speak and guide**

### 使い方

- ①アプリをインストールする
- ②アプリを起動する
- ③コード化点字ブロックにカメラを向ける

右の図形でも試せます  
方向によって案内が変わります



**Please Install**

iOS  
(App Store)



**Walk And Mobile**

Android  
(Google Play)



W&M SYSTEMS

「アンケートにご協力をお願いします」



# コード化点字ブロック広丘駅体験会

広丘駅にコード化点字ブロックが敷設されます  
目の見えない人・見えにくい人の困りごとをを  
体験してみませんか？

コード化点字ブロックの  
詳しい説明はこちら



- ・実施日 2024年11月3日(日) 12:30~16:30
  - ・会場 広丘駅構内およびその周辺
- 体験会はスタッフが説明しながら同行いたします  
ご都合の良い時間にご参加ください

① 12:30      ② 13:30      ③ 14:30      ④ 15:30

原則として事前に申し込んでください

お申し込みがなくても体験できますがお待ちいただくことがあります

お申し込みは電話またはメールで

電話 090-8597-2875 (吉國)

メール aoniyosi9500@gmail.com

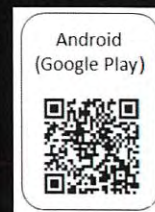
家で試すこともできます  
手順

- ① スマホにアプリをインストールします
- ② インストールが終わったらアプリを起動します
- ③ カメラをコード化点字ブロックに向けます

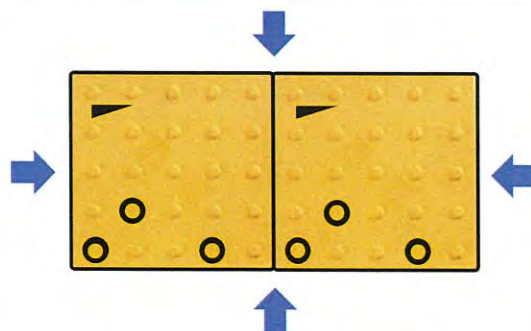
iOSはこちら



Androidはこちら




お試し用  
コード化点字ブロック  
いろいろな方向から  
試してみてください



主催 信州ファンドレイジングチーム

信州 eye 基金 事業報告書

公益財団法人長野県みらい基金  
理事長 高橋 潤 様

所在地 上田市上丸子1600-1  
団体名 点訳ボランティア ブライユ丸子  
代表者職氏名 代表 小平 律子  印

2024年9月30日付けで助成決定通知を受けた標記助成金について、助成募集要項10の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成を受けた助成コース

	(A) 「学びたいを応援」：県内の視覚障がいをもつ児童・生徒の学習支援に資する事業
○	(B) 「暮らしを応援」：県内の視覚障がいをもつ者への全般的な支援に資する事業

2 報告する事業について

(1) 事業名称

点訳活動に必要な機材（パソコン）及び点訳用ソフトの整備による視覚障害者への的確な情報の迅速な提供に資する為。

(2) 事業の実施期間

2024年10月10日 ～ 2024年12月20日

(3) 助成額

(A) 既助成額（概算払）	¥293,000 円
(B) 対象経費の支出額	¥293,590 円
(C) 助成金返還額 = (A) - (B)	▲¥590 円

(様式5)

(4) 事業の内容

1. 上田市発行の広報誌「広報うえだ」の点字印刷、郵送（毎月1回発行、年12回）
2. 上田市社会福祉協議会発行の広報誌「社協うえだ」の点訳、点字印刷、郵送（隔月偶数月発行、年6回）
3. 上田市丸子地域自治センター発行の広報誌「丸子地域自治センターだより」の点訳、点字印刷、郵送（2, 5, 8, 11月発行、年4回）
4. 丸子地域視覚障害者の配食用献立表の点訳、点字印刷、郵送（月3回、年36回）
5. 北陸新幹線、しなの鉄道、上田電鉄別所線、千曲バスの時刻表の点訳、点字印刷、郵送（毎年時刻表の変更、改正がある都度、およそ年1回）
6. 市内小学校の点字教室への点訳授業の出張講義活動（年2回、1回講義2日間程度）
7. 夏休み中・高校生のサマーボランティア体験の点訳授業の受け入れ（年2回）

(5) 事業の成果

1. 新規購入パソコンによる操作性の向上と点訳スピードの改善による点訳従事者の負担軽減効果。
2. 最新版点訳ソフトによる点訳変換効率の向上と誤変換の軽減による点訳作業時間の減少と点訳従事者への負担軽減と視覚障害者への的確な情報とその提供の迅速化。
3. 点訳ソフトの統一による点訳データの共有性の向上と利便性の向上効果。

3 添付書類

- (1) 収支報告書（様式6）
- (2) 領収書等、実際に経費を支払ったことが確認できる証拠書類（写し） ※対象経費のみ
- (3) 事業の経過及び成果を示す書類（外部公開可能な写真を含むこと）
- (4) 成果物各1部（開催案内・チラシ、当日配布資料等） ※成果物がある場合
- (5) その他参考となる資料

## 信州 eye 基金 事業報告書

公益財団法人長野県みらい基金  
理事長 高橋 潤 様

所在地 飯田市東栄町 3108-1  
飯田市社会福祉協議会内  
団体名 飯田市点訳ボランティアの会  
代表者職氏名 吉川千寿子



2024年9月30日付けで助成決定通知を受けた標記助成金について、助成募集要項10の規定により、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1 助成を受けた助成コース

	(A) 「学びたいを応援」：県内の視覚障がい者を有する児童・生徒の学習支援に資する事業
○	(B) 「暮らしを応援」：県内の視覚障がい者を有する者への全般的な支援に資する事業

#### 2 報告する事業について

##### (1) 事業名称

点訳ボランティアの

##### (2) 事業の実施期間

2024年 10月 2日 ～ 2024年 10月 29日

##### (3) 助成額

(A) 既助成額 (概算払)	162,000	円
(B) 対象経費の支出額	162,140	円
(C) 助成金返還額 = (A) - (B)	-140	円

(様式5)

(4) 事業の内容

当地の視覚障害をお持ちの方に、広報と情報誌を毎月1回、カレンダー・暦を年末に、日めくりを毎月2回発行しています。また当事者の方から御依頼の本やパンフレットなどの点訳などを行っています。

PC4台と点字プリンター3台を使っていますが、PC1台が15年以上前のもので、点訳ソフトの新しいバージョンがインストールできず、旧バージョンに変換しなければ作業もプリントアウトもできませんでした。絵図を書くソフトもインストールできず、作業ができないPCとなっていました。

今回、助成を頂き、PC1台を買うことができました。

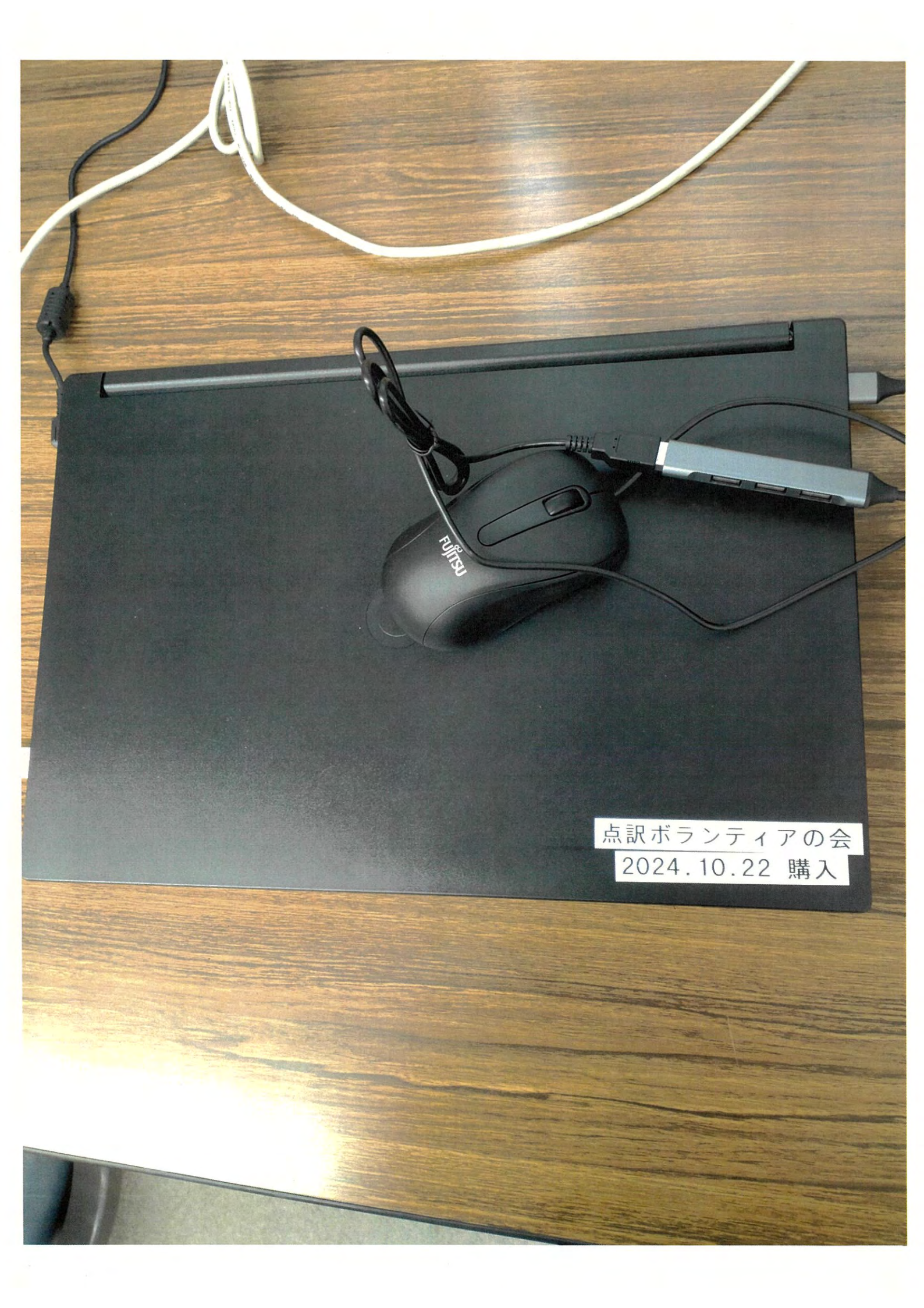
(5) 事業の成果

PCが新しくなったことにより、点訳ソフトの最新バージョンと絵図ソフトをインストールでき、各自が点訳作業したものを、どのPCでも修正や編集作業ができるようになりました。プリントアウトする際も、旧バージョンに変換する必要がなくなり、作業が効率化されました。

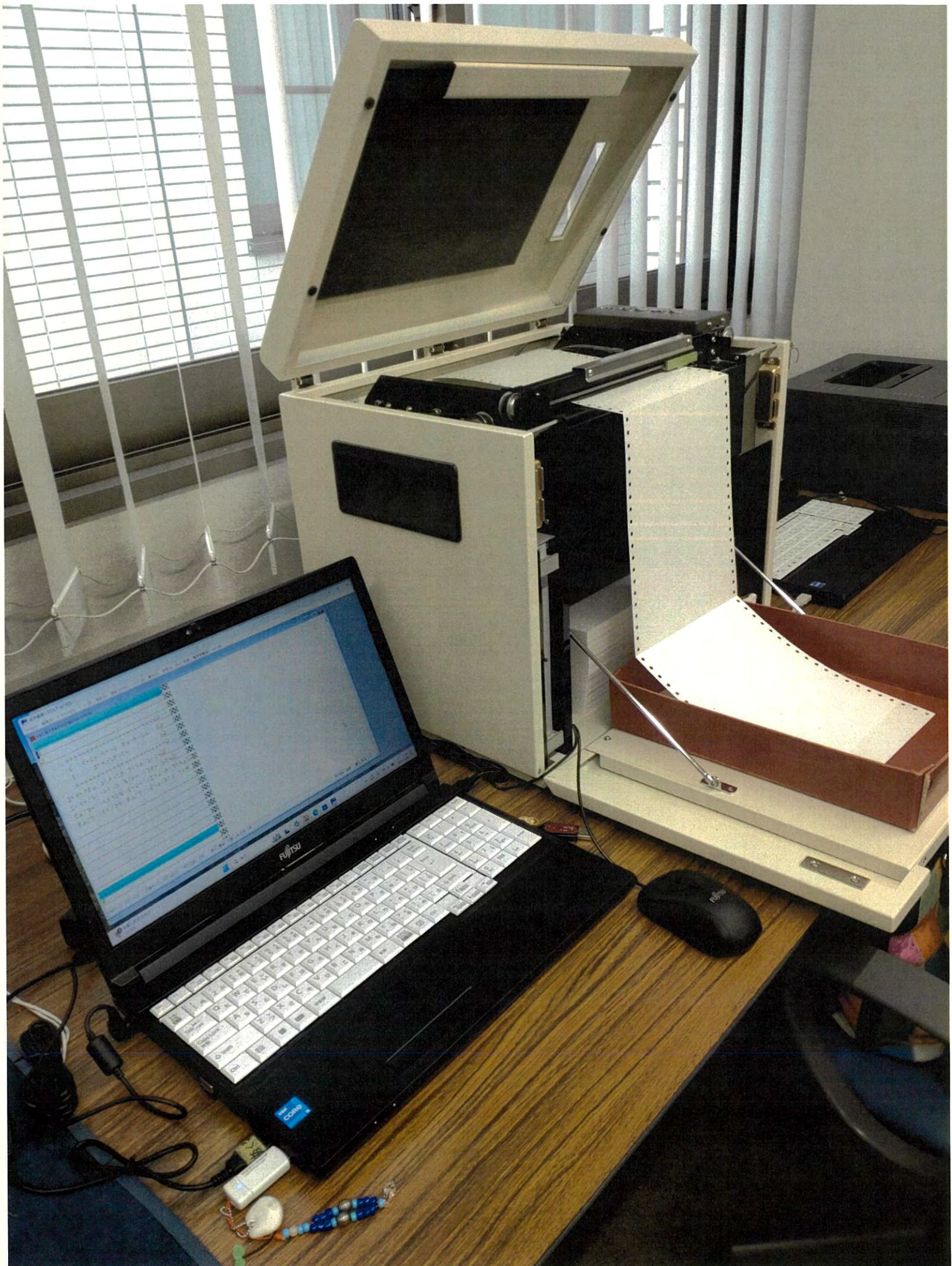
またソフトの使い方の学習をする際も、4台とも使って実際に操作しながら学習でき、大変役立ちました。

3 添付書類

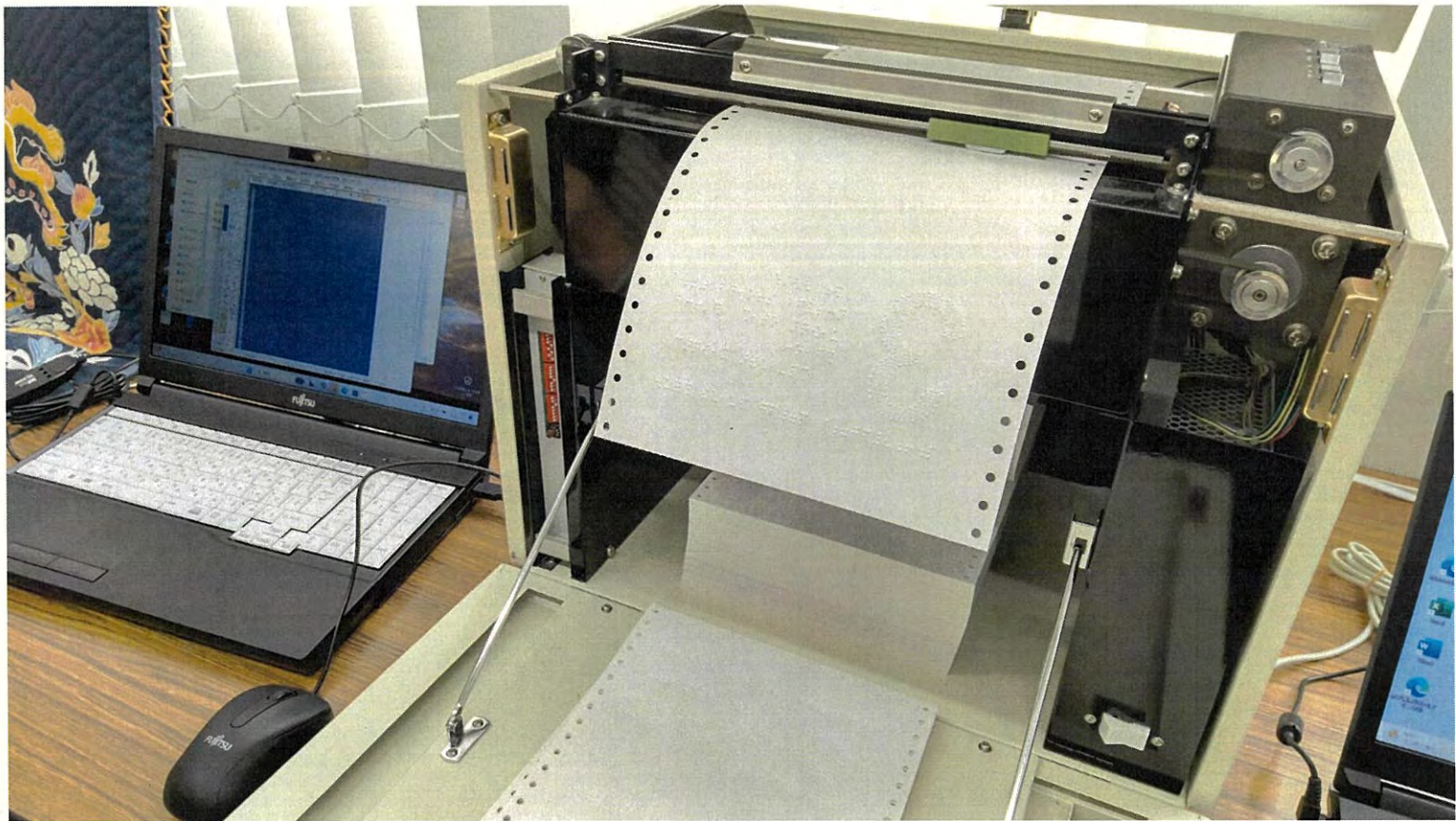
- (1) 収支報告書(様式6)
- (2) 領収書等、実際に経費を支払ったことが確認できる証拠書類(写し) ※対象経費のみ
- (3) 事業の経過及び成果を示す書類(外部公開可能な写真を含むこと)
- (4) 成果物各1部(開催案内・チラシ、当日配布資料等) ※成果物がある場合
- (5) その他参考となる資料

A black mouse mat is placed on a dark wood-grain desk. On the mat sits a black Fujitsu mouse with its cord coiled. To the right of the mouse is a grey USB device with a silver top and a black bottom, also with its cord coiled. A white cable and a black cable are visible at the top of the frame. In the bottom right corner of the mat, there is a white rectangular label with Japanese text.

点訳ボランティアの会  
2024.10.22 購入









## 信州 eye 基金 事業報告書

公益財団法人長野県みらい基金  
理事長 高橋 潤 様

所在地 長野市吉田3-16-13 ジェイハート内  
団体名 長野県ハーネスの会  
代表者職氏名 会長 広沢里枝子



2024年9月30日付けで助成決定通知を受けた標記助成金について、助成募集要項10の規定により、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1 助成を受けた助成コース

	(A) 「学びたいを応援」：県内の視覚障がい有する児童・生徒の学習支援に資する事業
○	(B) 「暮らしを応援」：県内の視覚障がい有する者への全般的な支援に資する事業

#### 2 報告する事業について

##### (1) 事業名称

「長野県ハーネスの会」ホームページリニューアル事業

##### (2) 事業の実施期間

2024年9月30日 ～ 2025年12月26日

※HP リニューアルについて技術的作業工程にて工期が伸びたことにより、本来の事業実施期間である2025年9月30日までを超過しての完了となりました。

##### (3) 助成額

(A) 既助成額 (概算払)	421,000 円
(B) 対象経費の支出額	605,000 円
(C) 助成金返還額 = (A) - (B)	0 円

(様式5)

(4) 事業の内容

【ホームページ URL】

<https://harness-nagano.com>

盲導犬ユーザーの会独自の目線で、助成金プラス会の資金を投入し、今までのホームページとは一線を画したホームページを作成。広告がないことで、視覚障害者でも余分な情報に煩わされることなく、目的のページに容易に到達できるものになった。また、盲導犬のことをもっと知りたい一般の人も含め、盲導犬を持ちたいと思う人のニーズにも応えられるよう、盲導犬育成団体、県の補助犬相談窓口のリンクも載せた。さらに盲導犬の社会的認知度を今以上に高めるため、「盲導犬と行って良かったシリーズ」として、対応の良かった店・レストラン・ホテル等、ユーザーの生の声を載せる予定。少し先になるが、今後の更新・管理も作成と同じ会社に委託することになっているため、「作っておしまい」とはならず、新しい情報を発信していく予定。

(5) 事業の成果

まだ、会の中での「成果」でしかないが、ユーザー会員の声など載せます。

●目的のページにたどりつきやすいか

トップページを最後まで確認してから各コンテンツページに移りましたが分かりやすい。

●コンテンツは適当か

盲導犬について知ろうの中で「身体障害者補助犬法」などにも触れていて、一般の人の理解も深められるのではと思う。今回の公開には間に合っていないが、「盲導犬と行って良かった店など」も今後徐々に載せる。更にブログについても複数人に依頼してあるので、徐々に載せていく予定。

●一般の人にアピールするか

盲導犬について、わかりやすい事例も載せてあるので、認知度が高まるのではと思う。また「よくある質問」に、会員が小学校に行った際に受けた質問を載せた。一般の人にも楽しい読み物となるのではと思う。

まだ完成形ではないので、今後コンテンツを増やしたり、更新を重ねたりしながら「長野県ハーネスの会」と盲導犬の認知度が高まればと思う。

3 添付書類

- (1) 収支報告書(様式6)
- (2) 領収書等、実際に経費を支払ったことが確認できる証拠書類(写し) ※対象経費のみ
- (3) 事業の経過及び成果を示す書類(外部公開可能な写真を含むこと)
- (4) 成果物各1部(開催案内・チラシ、当日配布資料等) ※成果物がある場合
- (5) その他参考となる資料



長野県ハーネスの会  
NAGANO HARNESS ASSOCIATION  
for Guide-Dog Users and Supporters

ハーネスの会について  
About Us

ごあいさつ  
Greeting

盲導犬を知ろう  
Learn about guide dog

活動状況  
Activity Reports

ハーネス基金  
Harness Fund

ハーネスの会会報  
Newsletters

会の沿革  
History

よくある質問  
FAQ

〒381-0043 長野県  
長野市吉田3-16-13  
株式会社ジェイハート内

Tel  
026-214-0802

リーフレット



## ハーネスの会について

「ハーネス」とは、盲導犬が仕事につける引具のことです。この「ハーネス」の名称をつけた『長野県ハーネスの会』は1998年に誕生しました。現在盲導犬ユーザー17名、サポーター55名で活動しています。

## 一緒に活動しませんか？

盲導犬ユーザーは、「いつでも好きな時に行きたい場所に自由に出かけられる」と、思われるかもしれませんが、実は「お断り」されることがけっこうあります。

- 食べる場所だから
- 毛が飛び散るから
- 犬アレルギーや犬を怖がる人がいるかもしれない
- ペットはお断り！
- 他のお客様の迷惑・・・

「お断り」の理由は様々です。でも、『身体障害者補助犬法』のお話をするだけでわかっていただける場合もあります。他のお客様が「入れてやれよ」と助けてくださる場合もあります。時には学校や公民館での講座の中で、盲導犬についてお話しして理解が進むときもあります。

また、ハーネスの会では年に1～2回、ユーザー会員・サポーター（のお友達もOK）30人くらいで、バス旅行や音楽会などを催します。盲導犬と共に行動することで、皆さんに盲導犬をもっともっと知っていただきたいと思うからです。あなたも私たちと一緒に活動しませんか？

## 盲導犬を知ろう

→ もっと詳しく知る

盲導犬に出会ったらどうすればいい？触ってもいいの？ 盲導犬とそのユーザーのこと、もっと知って理解を深めよう！

### 盲導犬について学ぼう



## お知らせ

→ 一覧を見る

2025.12.26  
当会のWEBサイトをリニューアルしました

- ハーネスの会について
- ごあいさつ
- 盲導犬を知ろう
- 活動状況
- 会の沿革
- よくある質問

- お知らせ
- 会報
- ハーネスの会ぶろぐ

- 会則及び細則
- 入会のご案内
- ハーネス基金
- ハーネス基金運営規則
- プライバシーポリシー

長野県ハーネスの会  
《随時会員募集中》

2025年10月10日

## 信州 eye 基金 事業報告書

公益財団法人長野県みらい基金  
理事長 高橋 潤 様

所在地 安曇野市三郷温 2043-6

団体名 あづみ野音声パソコン教室

代表者職氏名 代表 井上貞



2024年9月30日付けで助成決定通知を受けた標記助成金について、助成募集要項10の規定により、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1 助成を受けた助成コース

	(A) 「学びたいを応援」：県内の視覚障がい有する児童・生徒の学習支援に資する事業
✓	(B) 「暮らしを応援」：県内の視覚障がい有する者への全般的な支援に資する事業

#### 2 報告する事業について

##### (1) 事業名称

パソコン及び音声ソフトの購入

##### (2) 事業の実施期間

2024年10月1日 ～ 2025年9月30日

##### (3) 助成額

(A) 既助成額 (概算払)	467,000 円
(B) 対象経費の支出額	473,495 円
(C) 助成金返還額 = (A) - (B)	-6,495 円

(様式5)

(4) 事業の内容

- ・ノートパソコンの購入
- ・視覚障がい者支援用の音声認識ソフトの導入

(5) 事業の成果

- ・月2回開催の定例会での、最新機器を直接触ってもらい、今まで使用のソフトウェアとの操作の違いを理解していただけるようになった。
- ・当事者の、自宅に訪問し通信環境や操作環境を確認しながら、可能な限り希望に添える様な手伝いをした。
- ・支援する方も、新しいソフトウェアに慣れる事で今後のサポートに活かせる見通しを持てるようになった。
- ・視覚障がい者ではないが読み書きの困難を抱える、子どもさんや大人へのサポートを新たに取り組み始めた。

3 添付書類

- (1) 収支報告書 (様式6)
- (2) 領収書等、実際に経費を支払ったことが確認できる証拠書類 (写し) ※対象経費のみ
- (3) 事業の経過及び成果を示す書類 (外部公開可能な写真を含むこと)
- (4) 成果物各1部 (開催案内・チラシ、当日配布資料等) ※成果物がある場合
- (5) その他参考となる資料







(様式5)

2025 年 2 月 28 日

## 信州 eye 基金 事業報告書

公益財団法人長野県みらい基金  
理事長 高橋 潤 様

所在地 長野県北佐久郡軽井沢町長倉 4826-3

団体名 まるっとみんなで準備室

代表者職氏名 代表 有光茜



2024 年 9 月 30 日付けで助成決定通知を受けた標記助成金について、助成募集要項 10 の規定により、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1 助成を受けた助成コース

	(A) 「 <b>学びたいを応援</b> 」: 県内の視覚障がい者を有する児童・生徒の学習支援に資する事業
○	(B) 「 <b>暮らしを応援</b> 」: 県内の視覚障がい者を有する者への全般的な支援に資する事業

#### 2 報告する事業について

##### (1) 事業名称

まるっとみんなで映画祭 2025 in KARUIZAWA

##### (2) 事業の実施期間

2024 年 10 月 1 日 ~ 2025 年 1 月 31 日

##### (3) 助成額

(A) 既助成額 (概算払)	377,000 円
(B) 対象経費の支出額	874,000 円
(C) 助成金返還額 = (A) - (B)	0 円

(4) 事業の内容

●音声ガイドつき上映会の実施

2025年1月17日(金)～20日(月)の4日間にわたり開催された、2回目となる「まるっとみんなで映画祭 2025 in KARUIZAWA」でUDcastやHELLO!MOVIEを使用した音声ガイドつきの上映会を4作品実施し、視覚障害当事者も共に映画を鑑賞できる環境を整備した。

<上映作品>

11月17日(金)

①『土を喰らう十二カ月』上映会 音声ガイド：UDcastを使用

11月18日(土)

②映画『窓ぎわのトットちゃん』上映会 音声ガイド：HELLO!MOVIEを使用

※株式会社Motiongalleryが上映料を負担したため決算書に計上なし

11月19日(日)

③『私だけ聴こえる』上映会 音声ガイド：UDcastを使用

④『悪は存在しない』上映会 音声ガイド：UDcastを使用

<まるっとみんなで映画祭 2025 in KARUIZAWA 概要>

日時：2025年1月17日(金)～20日(月)

会場：軽井沢町中央公民館、中軽井沢図書館、上田映劇

特設ページ：<https://theatreforall.net/projects/marutto-filmfes-25/>

総来場者数：433名

●鑑賞サポートスタッフの充実

・前年度はボランティアスタッフを中心にイベントを運営したが、より安全かつ個別の鑑賞サポートや要望に対応するために専門スタッフを配置。場内誘導や鑑賞する際の来場者の困りごとに丁寧に対応する体制を強化した。

●送迎サポートの実施

・前年度から継続し、視覚障害や車椅子利用、免許返納などにより映画祭会場までの移動が困難な人のために、軽井沢駅、中軽井沢駅、信濃追分駅からの無料送迎バスをSC軽井沢クラブとの連携で運行した。

●視覚障害当事者への広報

・チラシ、ポスターを用いて軽井沢を中心とした東信地域（御代田、小諸、佐久）へ広く広報した。

・関係性のある埼玉県の盲学校（埼玉県立特別支援学校 埼玉保己一学園）の教員や東京で視覚障害当事者へのダンスレッスンに取り組む団体（明友会）などにイベントへの参加のしやすさ、課題についてのヒアリングを実施。

・聴覚情報での広報としてFM軽井沢にてイベント紹介をした（1月4日）。

・WEBページに使用される画像には代替テキストを挿入し読み上げに対応。

・事業の取り組み、実施報告に至るまでの情報発信をWEBページ（THEATRE for ALL）にて行い、視覚障害をはじめとした様々な障害への理解促進・普及啓発に務めた。

(様式5)

●青眼者への啓発

・広報活動として、軽井沢町中部小学校にて「バリアフリー」を見つけるワークショップを実施。アイマスクを装着し校内を歩いて普段気づかない段差を感じたり、耳栓をしてコミュニケーションをして聞こえにくい体験をするなど、子どものうちから障害や多様性について考える機会をつくった。

(5) 事業の成果

◎成果と課題

・ユニバーサル映画祭として、前年度にから継続し音声ガイドをはじめとした字幕対応や手話通訳などの情報保障に加え、送迎バスや休憩室・授乳室、リラックスイリアなどの鑑賞環境を整備したが、残念ながら今年度も視覚障害当事者の来場は0名であった。軽井沢町で活動する音訳ボランティア団体との連携も図ったが、当事者と直接出会うことには繋がらなかった。

・埼玉県立特別支援学校 埴保己一学園の教員へヒアリングした際には、「学校行事としてなら送迎も引率教員もつくので参加できる可能性があるが、個人での参加となると家族の負担もありなかなか難しい」などの意見をいただいた。

・SC 軽井沢クラブによる送迎バスを希望者の個人宅まで回ることも検討したが、リソースの不足やオペレーションに課題があり実現が叶わなかった。

・しかしUDcastやHELLO!MOVIEを使用したことでアプリをインストールすれば誰でも音声ガイドを聞くことができ、鑑賞サポートを知らない青眼者が音声ガイドを体験する機会となった。一般の来場者に加え、軽井沢町役場の総合政策課職員にも興味を示していただき、音声ガイドを体験いただいた。

◎今後の展開

・今年度も助成をいただいたにもかかわらず、来場者数の点では残念な結果となってしまった。東信地域には盲学校がなく、情報発信の難しさや当事者との直接のコミュニケーションの課題をより感じる結果となった。

・映画祭全体としては、前回より来場者が約130名増加し、ユニバーサル上映会を多くの方に体験していただくことができた。本活動が少しずつ地域の人々に周知され、視覚障害をはじめとする様々なバリアを感じる方々に訪れてもらえるイベントを目指していきたい。

3 添付書類

- (1) 収支報告書(様式6)
- (2) 領収書等、実際に経費を支払ったことが確認できる証拠書類(写し) ※対象経費のみ
- (3) 事業の経過及び成果を示す書類(外部公開可能な写真を含むこと)
- (4) 成果物各1部(開催案内・チラシ、当日配布資料等) ※成果物がある場合
- (5) その他参考となる資料

# まるっとみんなで映画祭2025 in KARUIZAWA 事業の経過及び成果



上映会の様子①



上映会の様子②（外部公開不可）



自由なスタイルで鑑賞できるリラックスエリア



映画鑑賞後の手話通訳つき感想シェア会



SC軽井沢クラブの送迎バス



小学校でのワークショップ（外部公開不可）



アイマスクを装着し校内を歩きバリアを探す（外部公開不可）



# まるっとみんなで映画祭 2025 in KARUIZAWA



作品のくわしい情報はこちらから ▶



	1/17(金)	1/18(土)	1/19(日)	1/20(月)
中央公民館大講堂	<p>15:00-16:55</p> <p>① 土を喰らう十二カ月 "食を通して味わう、豊かな長野の風土" 監督: 中江裕司 ハリアフリー字幕、音声ガイド (HELLO! MOVIE)</p> <p>18:30-20:05</p> <p>③ 恋人はアンバー "期間限定で"恋人"のフリ!" 監督: デビッド・フレイン 日本語字幕</p>	<p>11:00-12:55</p> <p>④ 映画 悪ざわのトットちゃん "悪は、ほんとうは、いい子なんだよ。大切なことを教えてくれる、トットちゃんのお母さん。" 監督: 八幡新之介 ハリアフリー字幕、音声ガイド (HELLO! MOVIE)</p> <p>13:00-16:10</p> <p>⑤ まるっとフレンドリー上映会 "昔七エエ日本のアニメーションのことばのない世界" [グース] 監督: ヤン・ミーカ [砂のカップケーキ] 監督: カテジナ・カルハーン・コヴァー [アンタはいいよね!] 監督: スザナ・ブラハチエウヴァー [もるめたも] 企画・制作: Reframe Lab</p>	<p>11:30-12:30</p> <p>⑩ 子ども向け手話ワークショップ 対象: 小・中学校中高生、きこえる人、きこえない人 ファシリテーター: 小川拓也、甲斐弘美</p> <p>13:30-15:25</p> <p>⑬ コーダ あいのうた "第94回アカデミー賞3冠達成" 手放す喜びと信じる幸せ" 監督: シアン・ヘダー ハリアフリー字幕</p> <p>15:30-16:15</p> <p>⑭ 感想シェア会 "手話を交えてみんなで「コーダ あいのうた」の感想を語り!" 手話: 日英</p>	<p>17:00-19:00</p> <p>⑰ ラウンドテーブル "誰も取り残さないまちづくり"においてわたしたちができることは何か?" キーノートスピーカー: 土屋三千米 (軽井沢町長) 審判員: 清水水子 (軽井沢町長特別顧問及協議員) 小宮山洋子 (にいがた県知事) 竹内重昭 (にいがた県知事) 平塚千穂子 (シネマズキネ・カク(代表)) 鹿光寺い(ライター)</p> <p>司会: 中村茜 (まちをつなぐで映画館) 手話通訳: UDT-19による文字支援</p>
中央公民館講義室	<p>16:30-17:10</p> <p>② まるっとフレンドリー上映会 "言葉がわからなくても楽しめる" [グース] 監督: ヤン・ミーカ [砂のカップケーキ] 監督: カテジナ・カルハーン・コヴァー [アンタはいいよね!] 監督: スザナ・ブラハチエウヴァー [もるめたも] 企画・制作: Reframe Lab</p>	<p>13:30-16:10</p> <p>⑤ トキエメント軽井沢 制作: まるっとみんなの調査団</p> <p>⑥ 秘境駅清掃人 監督: 太田信吾</p> <p>⑦ まつもと日和2 監督: 三好大輔</p>	<p>11:30-12:50</p> <p>⑪ 私だけ聴こえる "コーダの真の思いに届くまで" 通るドキュメンタリー" 監督: 湯井至 ハリアフリー字幕、音声ガイド (UDCast)</p> <p>14:30-16:20</p> <p>⑮ 悪は存在しない "多様な世界で、「善」と「悪」を二分することはできるのか— ラストの衝撃をどうとらえるかは、あなた次第。" 監督: 濱口龍介 ハリアフリー字幕、音声ガイド</p>	<p>11:00-11:45</p> <p>⑯ I Like Movies アイ・ライク・ムービーズ "映画大好きおまつき"と高校生の青春コメディ" 監督: チャンドラ・レバック 日本語字幕</p>
そのほかの会場	<p>18:00-20:00</p> <p>⑧ おたのしみ上映会 &amp; DJパーティー "地元高校生たちが作った映画を上映と太田信吾監督と三好大輔監督と一緒にトーク&amp;パーティータイム" 映画づくりのアレコレ聞いちゃおう! 会場: 中庭井沢図書館2階 多目的室</p>	<p>11:30-12:45</p> <p>⑫ ドラッグクイーンによる読み聞かせ&amp;ハブオマンス 対象: 3歳以上~ 定員: 20名程度 読み聞かせ: ラブリアーナ・ジョーロ 会場: 中央公民館第三会議室</p>	<p>10:00-11:00</p> <p>⑨ 音で遊べるワークショップ型上映会 [大騒動ゴロン] 監督: 田口清隆 [PAPER? / かみ?] 監督: 藤原浩二 対象: 小学生以上、保護者同伴</p>	<p>10:00-11:45</p> <p>⑯ I Like Movies アイ・ライク・ムービーズ "映画大好きおまつき"と高校生の青春コメディ" 監督: チャンドラ・レバック 日本語字幕</p>

**いろいろな鑑賞サポート**

- ・筆談ボード
- ・リラックスエリア
- ・車椅子のまま鑑賞できる場内設計
- ・駅からの送迎バス運行 (詳細は裏面)
- ・未就学児童入場可
- ・途中入退場自由

**映画祭の楽しみ方**

- ・開始時間の15分前から会場オープン
- ・車いす、バギーの方は優先入場ができるよ!
- ・お弁当やお菓子を持ってきて丸一日楽しんでみよう!
- ・お気に入りのキャラクターやグッズを持ち込んでOK
- ・やすみたくなったら休憩室でお昼寝もできるよ

**連携上映会 / ばだしのゲン 軽井沢映画上映会**

1月25日(土)

1回目: 10:00開場 / 2回目: 13:00開場  
入場無料 (要予約)  
主催: いい映画を願う実行委員会  
お問い合わせ先: サクラキ 090-8042-6572 (8:00-18:00まで)

詳細、ご予約は ホームページでご確認ください。  
@mannto\_minnaide @theatre\_for\_all

**プログラムの最新情報は こちらから (インスタグラム)**

# まるっとみんなで映画祭2025 in KARUIZAWA

映画『窓際のトットちゃん』『コーダ あいのうた』  
『土を喰らう十二ヵ月』など4日間で17プログラム  
こどもからシニアの方までみ～んな集まっちゃおう！



まるっとみんなで  
映画祭  
2025 in KARUIZAWA

裏面で  
ピックアップ  
プログラムを紹介！

## 日程

2025年1月17日(金)～20日(月)

## 会場

軽井沢町中央公民館、中軽井沢図書館 2階多目的室、上田映劇

## 料金

一般：1,000円(前売) / 1,500円(当日)

その他(22歳以下 / 75歳以上 / 障害者)：500円(前売) / 1,000円(当日)

未就学児・介助者：無料

映画祭全プログラムの詳細や  
チケット・バス乗車の予約方法は  
公式ホームページをご確認ください



## いろいろな鑑賞サポートをご用意しています

### 字幕



### 音声ガイド



### 手話通訳



### 筆談ボード



### リラックスエリア



### 駅からの送迎バス運行



### 未就学児童歓迎



### 介助者1名まで無料



ほかにも車椅子でも鑑賞できるエリアや必要な方の優先入場などもございます。  
ご要望や不安なことがあれば、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先 まるっとみんなで映画祭事務局  
電話・FAX：03-3528-9713（受付時間 平日10:00～17:00 / 株式会社precog）  
メールアドレス：marutto.theatre@gmail.com

聞こえなくても見えなくても楽しめる！

字幕・音声ガイド付き上映会

※映画祭で上映するほとんどの作品に  
字幕・音声ガイドがついています

18日(土)11:00~12:55

映画『窓際のトットちゃん』



(C)黒柳徹子/2023映画「窓ぎわのトットちゃん」製作委員会

19日(日)13:30~16:15

『コーダ あいのうた』  
感想シェア会



(C)2020 VENDOME PICTURES LLC, PATHE FILMS

お手持ちのスマートフォンに対応アプリ（UDCastやHELLO!MOVIE）をインストールいただくとバリアフリー字幕や音声ガイドを利用することができます。

※HELLO!MOVIEの字幕表示には対応のスマートグラスが必要です。

※映像上に字幕が表示されるためアプリを使用せず鑑賞できる作品もあります。



UDCast



HELLO!MOVIE

大人も子どもも、じっとしていることが苦手でも楽しめる！

アニメーション映画や参加型のプログラム

17日(金)16:30~17:10

無料

まるっとフレンドリー上映会

楽しい時間にことばはいらない！

アニメーション大国チェコから、セリフなしで誰もが一緒になって楽しめる、生き生きしたストップモーションアニメや、思わず吹き出す可愛いアニメの小作品をお届け。THEATRE for ALLで配信中のアニメーションも鑑賞できます。



「クース」©FILMOFON 「影のキャプター4」© MasterFilm 「アンタはいはいはね」© Zuzana Brehaczková

19日(日)11:30~12:30

音で遊べるワークショップ型上映会

映像の場面に合わせて音を鳴らしてみたり、話してみたり。身の回りにある道具や楽器、自分の身体や声を使って参加するワークショップ型上映。赤ちゃんからシニアの方まで、言葉がわからなくても、じっとしていることが苦手でも、どなたも参加できるユニバーサルな上映会です。



## 信州 eye 基金 事業報告書

公益財団法人長野県みらい基金  
理事長 高橋 潤 様

所在地 松本市筑摩 2-27-3

団体名 音色くらぶ

代表者職氏名 下林ゆかり



2024年9月30日付けで助成決定通知を受けた標記助成金について、助成募集要項10の規定により、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1 助成を受けた助成コース

	(A) 「学びたいを応援」：県内の視覚障がい有する児童・生徒の学習支援に資する事業
○	(B) 「暮らしを応援」：県内の視覚障がい有する者への全般的な支援に資する事業

#### 2 報告する事業について

##### (1) 事業名称

若い世代を巻き込め！視覚障害者共生ノーマライゼーション地域社会づくり

##### (2) 事業の実施期間

2024年9月30日 ～ 2025年9月30日

##### (3) 助成額

(A) 既助成額 (概算払)	592,000 円
(B) 対象経費の支出額	0 円
(C) 助成金返還額 = (A) - (B)	592,000 円

(様式5)

(4) 事業の内容

若い世代を巻き込め！視覚障害者共生ノーマライゼーション地域社会づくり  
①同行援護従業者養成研修  
②理解促進交流会

(5) 事業の成果

事業の中止 (①②両事業とも)

①受講者の応募不足。

事由・令和6年10月スタートで6年12月には研修を完了する予定であったが、予定研修事業者と調整難航により11月に他事業者へ変更したが年内の開催は不可となった。年明け1~2月は試験・受験期により3月開催目指したが会場取得等で困難であった。4月以降は研修内容の改正により研修日が3日から4日に増加し講習内容の変更に伴い講師の準備期間として9月以降の開催予定となる。事業の年度末として事業延長の申請を行い半年の延長となった。秋以降を予定したが増加し4日となったことから受講困難として応募者が激減。講師都合により2月以降を予定。試験・受験・4日の受講困難として開催目途が立たずに断念を決定した。

②事業は、上記①事業の補完事業として予定していたが①事業が中止となったため断念。

3 添付書類

- (1) 収支報告書(様式6)
- (2) 領収書等、実際に経費を支払ったことが確認できる証拠書類(写し) ※対象経費のみ
- (3) 事業の経過及び成果を示す書類(外部公開可能な写真を含むこと)
- (4) 成果物各1部(開催案内・チラシ、当日配布資料等) ※成果物がある場合
- (5) その他参考となる資料

\*\*\*\*\*

長野県みらい基金追記

【2026年3月末現在】

事業が中止となったため、一部返金、後日精算し返金予定